

平成28年度 椎葉村立松尾小学校 自己評価書

(4段階評価) 4 期待以上 3 ほぼ期待どおり 2 やや期待を下回る 1 改善を要する

○ 本年度の重点目標 「地域と連携し、『学校力』『教師力』の向上を図り、心豊かでたくましく、確かな力を備えた児童の育成を図る」

評価項目	評価指標	具体的数値目標等	方策・手立て	自己評価		結果の考察・分析及び改善策等
				指標別	総合	
確かな学力の定着	基礎・基本の定着	「読み・書き・計算」定着率80%以上	<ul style="list-style-type: none"> 諸検査の活用（実態把握） 個別指導と朝の活動の充実 学力向上の時間の工夫 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本の定着については、授業のほか、朝の活動（読書・漢字・視写・計算）、の活用により、ほぼ達成することができている。（CRT結果より） 今年度も、全員研究授業を実施することができ、ガイド学習や個に応じた指導の在り方などについて研修を行い、日常の授業に生かすことができた。
	主体的に学ぶ授業の工夫	個人の成績を5%～10%アップ	<ul style="list-style-type: none"> 全員研究授業を実施 ガイド学習の完成 学習環境の整備 	3		
豊かな心づくりと表現	相手を思いやる心	いじめ0	<ul style="list-style-type: none"> 集団登校、縦割り清掃 常時指導の徹底 交流学习、集合学習の活用 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 毎月のハートフル委員会において、学級内の人間関係や1人1人の児童について情報を共有することで児童理解を図ることができた。 集合学習や交流学习等でもお互いを思いやる姿が見られた。 学習発表会のミュージカルで豊かな表現力が育ってきた。 あいさつは、まだ不十分などところがあるので継続して指導に取り組む。
	相手に届く表現	相手を見て、大きな声ではきはきと80%	<ul style="list-style-type: none"> 朝の1分間スピーチの充実 「すげえ あいさつ」の推進 集会での発表の場 	3		
たくましい体づくり	基礎体力の向上	新体力テスト5%～10%アップ	<ul style="list-style-type: none"> 業間運動の工夫 各運動大会の実施 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 1月までの全校無欠席日数は98日（昨年111日）であった。 就寝時刻については、個人差が大きく、個別指導が必要である。 朝や業間の時間のさまざまな運動の取組により、体力向上が図られている。
	健康安全意識の向上	出席日数 個人目標5%～10%アップ	<ul style="list-style-type: none"> 早寝、早起き、朝ご飯の推進 弁当の日の推進 	3		
特色ある教育実践と学校開放	地域の文化との出会い	太鼓の発表(2回)	<ul style="list-style-type: none"> 総合学習での太鼓練習の充実 児童館生、敬老交流活動の充実 	4	3	<ul style="list-style-type: none"> 平家大いちょう太鼓の方々のご指導により、今年度も充実した活動ができた。 敬老交流学习やにこにこランド等での交流では、楽しく交流することができた。 各種通信を発行することで、学校の様子を広報し、保護者の啓発に取り組んだ。
	家庭・地域との連携強化	各通信の定期的発行	<ul style="list-style-type: none"> 学級だよりの充実 学校だよりの(松尾っ子)の発行 	3		

平成28年度 椎葉村立松尾小学校 学校関係者評価書

(4段階評価)

4 期待以上

3 ほぼ期待どおり

2 やや期待を下回る

1 改善を要する

○ 本年度の重点目標 「地域と連携し、『学校力』『教師力』の向上を図り、心豊かでたくましく、確かな力を備えた児童の育成を図る。

評価項目	評価指標	学校の自己評価コメント	自己評定	学校関係者 評定平均	学校関係者評価コメント
確かな学力の定着	基礎・基本の定着	○ 基礎・基本の定着に関しては日常の評価テストに加え CRT の結果から、概ね定着しているといえる。ガイド学習や個に応じた授業の工夫に関しては、研修の結果を日常の授業に反映し、共通理解・共通実践が行えた。さらなる、研鑽を積んでいきたい。	3	3	○ 学力向上に向けて、先生方が一丸となっていろいろと工夫しながら指導していただいている。国や県の学力調査、CRTなどの結果からみても、先生方の熱心な指導と子ども達の真剣な学習への取組が分かる。今後は、一人一人のさらなる学力向上を目指して、学校全体の学力の底上げを図っていただきたい。
	主体的に学ぶ授業の工夫				
豊かな心づくりと表現	相手を思いやる心	○ 自分の考えを人前で、堂々と話すことが出来る児童が増えてきた。やまびこ放送での地域へお知らせの言葉もしっかり言えるようになってきた。	3	3	○ やまびこ放送で学校行事等の案内や作文発表をしており、地域の方々からも好評である。子ども達の元気な声が聞かれ、学校の様子を垣間見ることができる。学習発表会でも、堂々と発表できていた。あいさつについては、学校、家庭、地域が連携して、さらに盛り上げていく必要がある。
	相手に届く表現				
たくましい体づくり	基礎体力の向上	○ 授業や業間の時間の活動・昼休みにおける野外運動やスポーツ少年団活動の取組により基礎体力は向上している。今後とも、健康面にも留意させ、欠席0の日を増やしていきたい。	3	3	○ 体力テストの結果からみて、基礎体力の向上が図られていることが分かる。スポーツ少年団活動の活躍についても話を聞く機会が多く、先生方をはじめ保護者や地域との連携のおかげだと思う。今後も基礎体力の向上に向け、さまざまな取組をお願いしたい。
	健康安全意識の向上				
特色ある教育実践と学校開放	地域の文化との出会い	○ 大いちょう太鼓の練習や発表を通して、児童にも自信が付いてきた。また、ふるさとを愛する心も育ててきている。 ○ 敬老交流学习を通して高齢者への尊敬や感謝の念も培われた。各種通信を通して、学級・学校の教育活動の理解と支援を図っている。	3	4	○ 大いちょう太鼓については、平家大いちょう太鼓の方々の指導の下、熱心に練習に取り組んでいることが窺え、学習発表会での演奏も大変立派だった。敬老交流学习に限らず、学校での出来事をホームページや各種通信等で紹介しており、情報発信にも熱心に取り組んでいる。今後は、地区のサロンへの参加についても積極的に取り組んでいただけないかと思われる。
	家庭・地域との連携強化				